

AI搭載の生産計画DXサービス「最適ワークス」導入企業のスザキ工業所にて、各務原市製造業向け事例発表会を実施

生産計画DXによる残業20%削減・属人化解消等の成果を岐阜県各務原市の製造業事業者に共有

株式会社スカイディスク（本社：福岡県福岡市中央区、代表取締役CEO：内村 安里、以下「スカイディスク」）が開発・提供をしているAI搭載の生産計画DXサービス「最適ワークス」導入事例発表会を実施しました。株式会社スザキ工業所（本社：岐阜県各務原市、代表取締役：鷲崎 純一、以下「スザキ工業所」）代表の鷲崎 純一氏による生産計画DXの進め方を主軸とした最適ワークス導入事例について成果発表がされました。スザキ工業所は、最適ワークス導入後、残業20%削減、有給取得率100%、生産量10%増を実現しています。



■ 導入事例発表会の様子

発表会には、スザキ工業所が所在する岐阜県各務原市より、製造業従事する数社、市の産業政策課、各務原市商工会議所、岐阜県の県内メディアが参加しました。スザキ工業所 鷲崎氏より、生産計画のシステム化に踏み切った経緯から、最適ワークス導入後の効果、今後の展望について、自社の取り組みを発表いただきました。生産計画のシステム化後の運用フローやAIにより自動立案された実際の生産計画等も紹介されました。

質疑応答の時間には、製造業各社より自社の課題をベースとした真剣な質問が数多く寄せられ、活発な意見交換の場となりました。

発表会後には、工場内の見学ツアーが実施され、最適ワークスの画面が工場内モニターに映し出される中、作業員が製造活動をしている様子が見学されました。

■生産計画のシステム化の課題

日本の製造業のデジタル化は喫緊の課題となっています。原材料高騰などの外的要因、人材不足などの内的要因両面において、競争環境が激化しているのが製造業の現状です。このような状況の中、製造ラインそのものの生産性・効率性の強化だけでなく、製造ラインの運用を司る生産計画運用体制をアップデートしていくことは必須の状況となっています。独自開発に依存せずSaaSなどクラウドサービスも活用し、生産計画をはじめとした製造業務のDXを推進し業務の効率化を図ることが、製造業の持続的な成長の第一歩となります。

例えば経済産業省が2018年に公開した「DXレポート」には、過去にオンプレミスで構築されたレガシーシステムに依存するリスクが言及されています。追加開発が断続的に発生することで発生する仕様の複雑化や担当エンジニアの退職による仕様のブラックボックス化、また、導入したシステムが使用しているアプリケーションのサポート切れといった老朽化の進行などの課題があることから、企業がこれらのシステムに依存し続ける場合、生産効率の低下やオペレーションメンテナンスコストの増加などにより、2025年以降最大12兆円にもものぼる経済損失が経済全体に発生すると指摘しています。

このように、これからの製造業ではオンプレミス、フルスクラッチの開発に極端に依存したシステム活用戦略から、企業の優位性の基盤となる独自システム開発とクラウドサービスの両立に移管していくことが求められています。

令和3年度の情報通信白書によると、国内製造業におけるDX取り組み状況はわずか22.8%、中小製造業においては更に低く10.6%となっています。

このような製造業のデジタル化課題がある中で、スザキ工業所のDX化の取り組み及びその効果は中小製造業を先導するものだと考えております。

今後もこのような情報発信を行い、中堅・中小を含めた製造業のDX支援に尽力してまいります。

■最適ワークスについて

最適ワークスは株式会社スカイディスクが開発・提供する製造業向けAI×SaaS生産計画自動立案システムです。「いつまでに、何個、どの製品を」というオーダー情報から、AIが設備稼働・人員配置の割付け計画を瞬時に立案します。

工場運営における屋台骨ともいえる生産計画領域のDXを推進するサービスであり、2022年4月のリリース以降大手～中堅中小まで累計100社以上に導入されてきました。最適ワークスは、計画立案業務の効率化を実現するだけでなく納期遵守・品質担保・在庫の適正化や現場の生産効率改善を支援する、「生産計画DX」を実現するサービスです。

「最適ワークス」には生産計画の立案に特化した独自開発エンジンを実装。また、特許出願技術の導入によりマスター設定にかかる手間を劇的に改善しました。製造業各社がオーナーシップを持ち、DXの進捗が可視化しやすいスモールスタートできるサービスを実現しています。

製品サイト：<https://saiteki.works/>

■株式会社スカイディスク 会社概要

スカイディスクは、2013年の創業以来、製造業を中心に272社のお客様と、550件のプロジェクトに取り組んできました。そこで得た知見・ノウハウをサービス・プロダクトとして世の中に還元することが私たちの使命だと考えています。「ものづくりを、もっとクリエイティブに」をミッションに、AIを活用したDX推進にチャレンジしていきます。

会社名：株式会社スカイディスク

代表者：代表取締役 CEO 内村 安里

設立：2013年10月1日

事業内容：AIを活用したDX支援

本社所在地：福岡県福岡市中央区舞鶴2-3-6 赤坂プライムビル4F

会社サイト：<https://skydisc.jp/>

■株式会社スザキ工業所 会社概要

会社名：株式会社スザキ工業所

代表者：鷲崎 純一

設立：1979年1月

事業内容：金属プレス、溶接、組立加工全般
金型 治具、設備、制御装置の設計製作
プレス関連機器製造販売

本社所在地：岐阜県各務原市上戸町7丁目1番地15

会社サイト：<https://suzaki-industry.co.jp>

当プレスリリースURL

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000099.000022401.html>

スカイディスクのプレスリリース一覧

https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/22401

【本件に関する報道関係者からのお問合せ先】

株式会社スカイディスク 広報担当：福間 晶子

電話：0120-29-1331

メールアドレス：a-fukuma@skydisc.jp